

平成 29 年度多面的機能支払交付金事例研究会参加報告

開催日時

平成 29 年 10 月 11 日（水曜日） 13 時 30 分から 18 時 15 分まで 事例発表傍聴
平成 29 年 10 月 12 日（木曜日） 9 時 15 分から 11 時 35 分まで テーマ別意見交換
【テーマ 2：多面的機能の発揮を通じた地域の活性化】
について、江見清秀さん発表

開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者

江見 清秀（発表者） 大智 修 馬場 輝夫

【はじめに】農業・農村の多面的機能とは

農業・農村の多面的機能とは、以下の機能があり、これらの維持・発揮を支えるため交付金が支払われる。



1. 事例発表傍聴（10月11日） 要約記載

（1）【テーマ1 活動の体制強化】

「金山町の広域組織化への歩み！～1町1組織とは！～」

福島県 金山町 金山町農地維持環境保全協議会 五ノ井 忠伸 氏

（2）【テーマ2 多面的機能の発揮を通じた地域の活性化】

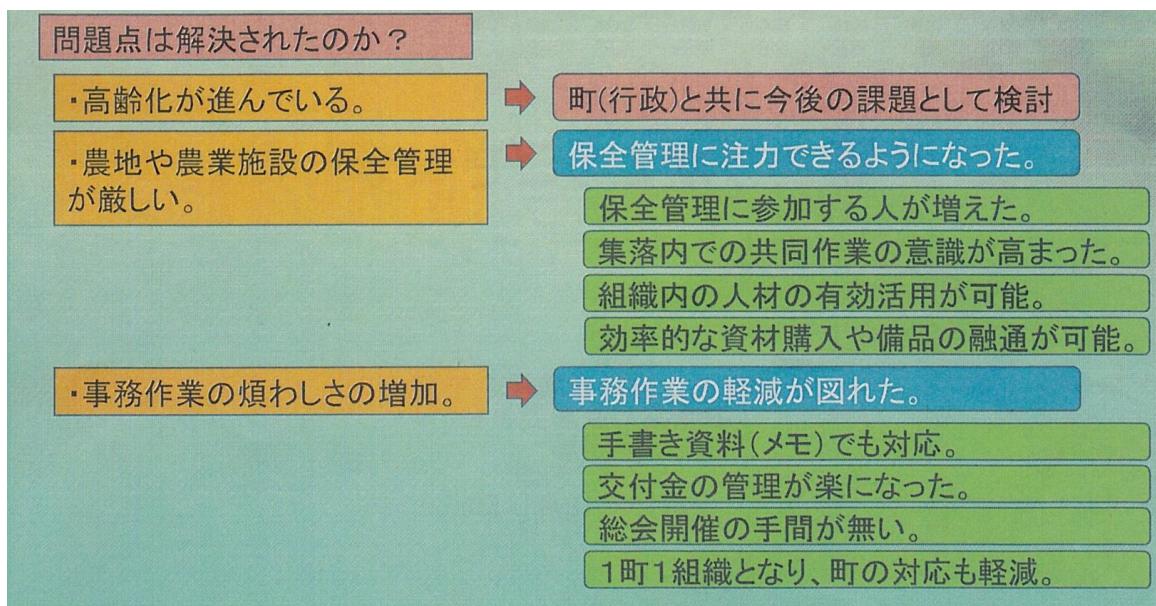
「多面的な地域資源の保全から活用へ～次世代に地域・農業を引き継ぐために～」

栃木県 鹿沼市 板荷畑いつくし美会 亀山 貴則 氏

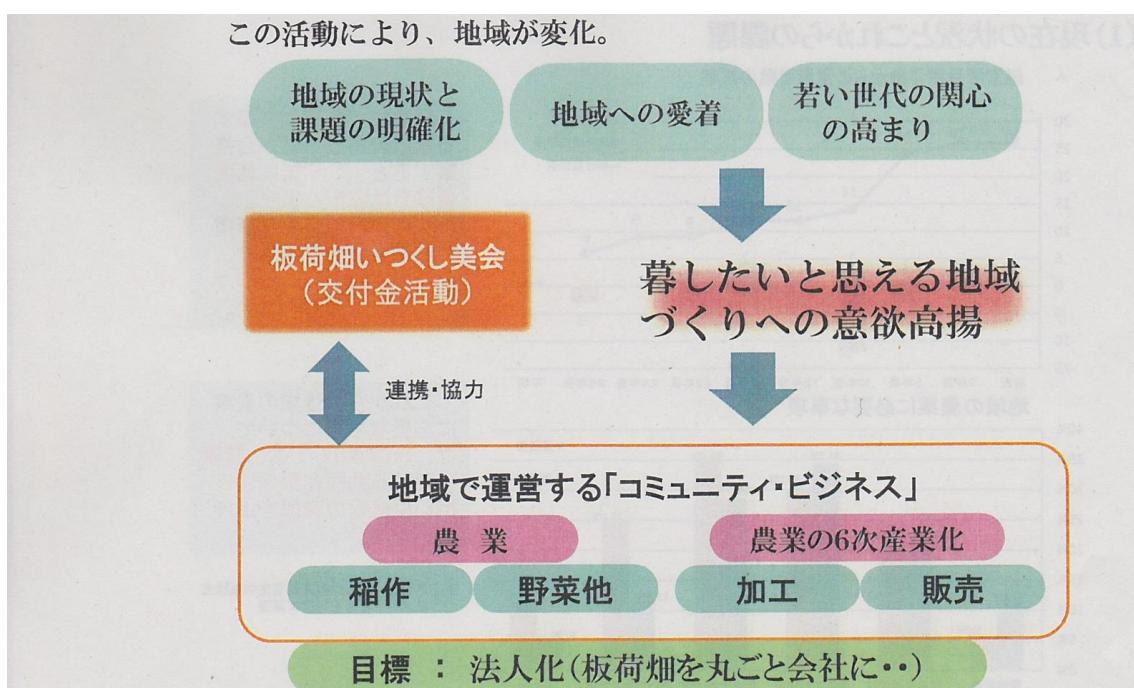
（3）【テーマ3 活動を通じた地域農業の振興】

岡山県 吉備中央町 円城広域組織 杭田 元 氏

① 金山町 広域組織化のメリット



② 板荷畑いつくし美会 次世代に地域・農業を引き継ぐために これからの方針



③ 吉備中央町 円城 広域組織 組織概要と農地集積の取り組み

取組活動 農地維持、資源向上（共同、長寿命化）

認定面積 162ha (田: 89ha、畑: 73ha)

対象施設 水路 10km、パイプライン 116km 農道 70km
ため池 23箇所

交付額 農地維持 413万円
資源向上（共同、長寿命化） 617万円

組織構成 4集落（農家数=205戸、非農家36戸）
非農家…農業生産法人、自治会、子供会、婦人会、老人会
消防団、集落営農組合、土地改良区

4-1. 農地集積を後押しする取組み

組織の広域化に伴い、各地域のリーダーが中

心となり話し合い活動を展開し、平成27年度

に広域エリアで人・農地プランを見直す。

耕作出来なくなった水田 12ha (130筆)

について、農地中間管理事業を活用し集落営農組

合(法)と認定農業者へ集積。

2. 多面的機能の発揮を通じた地域の活性化 (10月12日) 要約記載

宮城県大崎市	ひろなが 広長地域資源保全隊	たかとや 高崎 仁 氏
栃木県鹿沼市	かぬま いたがばた 板荷畑いつくしま会	かめやま 亀山 貴則 氏
岡山県岡山市	おかやま ほうだに 母谷里山保全会	えみ 江美 清秀 氏
大分県宇佐市	うさ いわさき 岩崎農地水環境保全組合	ながの 長野 義徳 氏

【テーマ別シナリオ】

(1) 環境保全の取組

広長 高崎・吉田	6分	①シナイモツゴ保全のための取組のきっかけ・取組状況(ブラックバス駆除、生きもの調査等) ②どのような体制で取り組んでいるか(NPOや小学校との関係性も含めて) ③シナイモツゴ保全を通じた米のブランド化の取組、地域の反響、今後の課題等
板荷畑 亀山	3分	(初日に発表している内容はなるべく少なく簡単に) ①耕作放棄地発生防止対策と景観形成として行っているそば栽培の取組状況 ②そば栽培の体制(鹿泉会との連携状況)、そば祭りによる地域の交流活動の反響 ③そば栽培への関心の高まり(定年退職後のそば店開店の機運向上や、そば店の研究等)
母谷 江見	6分	①岡山理科大学と連携した環境保全のきっかけ・取組状況(子ども達との水生昆虫調査・外来種駆除、カスミサンショウウオの保護、緑肥レンゲを活用したミツバチ・チョウ調査、ミツバチ巣箱等) ②子ども達の反応や地域の変化<アンケートにはないが伺いたいところ ③里地里山の生きものを次世代に残すための今後の課題や展望等<アンケートにはないが伺いたいところ
岩崎 長野	3分	※話題2の防災が主の取組のため、ここでは環境保全の取組を簡単に説明 ①オオフサモによる被害、きっかけ、駆除の取組状況 ②取組を通じて地域に生まれた変化<アンケートにはないが伺いたいところ

(2)防災への取組

広長 高崎・吉田	5分	※話題1の環境保全が主の取組のため、ここでは防災の取組を簡単に説明 ①地域で起こりうる災害(ため池の堤体崩落等) ②災害発生防止のための取組(事前・事後の巡回)、災害発生後の復旧・補修 ③地域住民や行政・土地改良区との連携状況
板荷畑 亀山	5分	(初日に発表している内容はなるべく少なく簡単に) ①災害時の対応(構成員全体で把握、行政との連携等) ②災害対応を通じた地域連携の効果(営農意欲の継続等)
母谷 江見	7分	①地域で起こりうる災害(中山間地の土砂災害やため池決壊等) ②保全会と自主防災会が連携した防災の取組(農村環境保全活動時に行う炊き出し訓練、今後行う予定の防災マップ作成やため池決壊時のワークショップ等) ③自主防災会を設立したきっかけ(「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」でどのような話し合いをしたか) ④今後すべきこと(「顔の見える関係」づくりに向けて、交付金による活動は役立つか)
岩崎 長野	7分	①地域で起こりうる災害(洪水被害等) ②保全組合による防災の取組(雨量・水位データの分析、ため池管理、水路の雑木伐採、防火槽設置、自治会区民への啓発等) ③水路の泥上げや雑木伐採等を行う体制(農家・非農家関係なく全員参加) ④今後すべきこと(自主防災組織の確立等)

(3)施設整備の技術

広長	高崎・吉田	2分	①直営施工で実施している補修・更新(水路のコンクリート化等) ②技術向上・品質確保のための取組(土木経験者の協力)
板荷畠	亀山	2分	(初日に発表している内容はなるべく少なく簡単に) ①直営施工で実施している補修・更新(農地法面の復旧、交付金を使っていないことを前置きした上で河川における取水堰の改修) ②技術向上・品質確保のための取組(土木経験者による資材選定や技術指導等)
母谷	江見	2分	①直営施工で実施している補修・更新(水路補修、ため池のイノシシ被害対策等) ②技術向上・品質確保のための取組(県主催の研修会参加)
岩崎	長野	2分	①直営施工で実施している補修・更新(農道路肩修復、水路目地補修、ため池洪水吐補修等) ②技術向上・品質確保のための取組(土木経験者による重機の借用・運転等、市や県主催の研修会参加)

(4)合意形成・情報発信の工夫

広長	高崎・吉田	3分	①組織内に向けて発行している保全会だより(内容、頻度、作成者等)(配布資料4P参照)、カレンダー、3部作冊子、地域の反応 ②組織外への情報発信(新聞社への情報提供)、外部の反応(問い合わせの増加等)
板荷畠	亀山	3分	(初日に発表している内容はなるべく少なく簡単に) ①組織内に向けて発行している会報(内容、頻度、作成者等)(配布資料24P参照)、地域の反応 ②Facebookを活用し始めた理由(外部への情報発信、手軽に発信できる、誰でも発信者になれる)、今後の展望
母谷	江見	3分	①電子町内会システムを活用した地域内への情報発信(内容、頻度、発信者等)、回覧板のデメリット(時間がかかる、見直しができない)、電子町内会システムのメリット(無料、スマートフォンで見える)
岩崎	長野	3分	①自治会への働きかけ(自治会役員会への定期的な現状報告、自治会区報への情報掲載等)

以上